

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 124 号 2008.8.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

今年の農産展はひとあじちがいます！

TOREK 自然農法農産展も今年で 30 周年を迎えることができました。この 30 年の経験を生かし、より良い農産展を目指して、まず次の三つを柱にすえました。

- ・展示部門と販売部門とを別々の日程で行うこと
- ・展示の仕方を、作物別から生産者別にすること
- ・新規実施者を奨励し、増やしていくこと



8月3日 販売

販売日の 8 月 3 日、八王子は 34 度を越す猛暑、会場は自然農法の普及を願う生産者、安全な作物を求める消費者との大変な熱気で、文字通り、熱い熱い農産展販売日となりました。

スペースも広くなり、生産者と消費者が意見を交わしながらの販売は、お互いに意義のある時間だったと思います。「生産者から熱く作物の説明をうけた」「今回は販売だけなので買うことに集中できた」などの声もありました。かき氷、イチゴシェイク、梅ジュースは大人気で、多くの方が冷たさとおいしさに大満足の様子でした。



8月17日 展示

一方、展示日の 8 月 17 日は、小雨まじりで涼しく、会場は、73 名の出展者による 384 品の出展作物を見るため、大勢の方で賑わいました。ある方はその出品物の美しさに「自然農法の作物って芸術作品みたいですね！」と感激され、またある方は展示札に書かれているコメントをじっと読まれ、目を細めていました。

今年は、農産展をより良くするために、スタッフが何度も話し合い、作物を作っている実施者の取り組みや想いを伝えることで、「新たに実施者を増やしていくこと」がテーマとなりました。

展示方法も、今までは作物の品種ごとの展示だったのを、生産者ごとに並べたことで、「見やすい」「生産者の取り組みが分かりやすい」などの意見がありました。

また、新規実施者の奨励ということでは、初心者コーナーや、写真出品といった新企画で、小規模ながら自然農法の実践に取り組んでいる方々も紹介したり、「鉢・土・種」をセットにした「入門セット」を配り、次回の農産展に出品できるように促進活動も行いました。



かたや、「生産者の声」を聴く特設会場では、専業で活躍されている方々の並々ならぬ取り組み、苦労されているお話を聴き、改めて生産者への感謝をもつことができました。遠く熊本からいらした造り酒屋を営まれている方が、酒米を有機農法から無施肥無農薬栽培に切り換え、地域で取り組まれているという話もありました。

自然農法始めました！

また、8 月 3 日、8 月 17 日ともに、それぞれ一人ずつ、自然農法を始めたいきっかけのお話を詳しく聴くことができました。



栃木県足利市の五十嵐由江さんは、ご両親とともに田んぼ、畑をされています。畑は無施肥無農薬で 21 年もされているのですが、平成 17 年より、ご家族で田んぼにもチャレンジすることになりました。

最初のご両親も仕事をされての実施なので、体力に心配があったのですが、始めてみると不思議と体力面は良好で、さらには仕事面まで良くなっていったとのこと。他にも、田植え前に雨がふり、不必要なわらが流れ、田んぼがきれいになったり、田植え時にも雨で必要な水が確保できたり、草取りの努力で、おじ様がされていた慣行農法時より 2 俵も増収するなど、まるで大自然が応援してくれているようだと感じたとのことでした。

そして何よりも、頒布会でお米や野菜を購入された方々がとても喜んでくださること、それが自分たちの大きな喜びになると発表されていました。

千葉県船橋市の浅野誠さんは、自然農法の原理に感銘し、その普及の必要性と、また食の危機にも関心をむけていたところ、今年から、お父様より畑の一部を借りることができ、自然農法実践の第一歩となったことへの喜びの発表をされ、今回の農産展にも念願の出品をされていました。

前回の夏季農産展(出品者 70 名、作物 339 点)から、実施者が増えたとはまだまだ言えませんが、多くの方が農産展に参加し、自然農法が広く普及されるよう盛り上げていきたいと思えます。秋の農産展にむけて、今からでも十分間に合います。育てることで生産者の心に触れてみませんか！

いつでも販売しています！

東中野の通常販売が今、大盛況です。

ホットニュースでも毎月お知らせしている、八王子での販売、農産展での販売、頒布会の他に、東中野でも通常販売が行われています。

普段は、販売物の種類や量はそれほど多くありませんが、今年の夏は大変充実しています。

出荷してくださっている生産者のお一人である長野県木島平村の竹内さんからは、1 日おきくらいに、ピーマン、ナス、シシトウ、カボチャ、ナシウリ、ズッキーニなどの新鮮なお野菜が届きます。購入されている方々からは「毎日のように新鮮な野菜が色々買えてうれしい」「体調をくずした家族のために、すぐに自然農法の作物が手に入る」「夏バテに有り難い」という喜びの声が届いています。

竹内さんの畑はそれほど広い訳ではありませんが、畑を無駄なく上手に使用して、少量多品種の自然農法に取り組んでおられます。また出荷においても、例えばズッキーニは、農協出荷規格よりも大きくなるまで待ったほうが、味も良く、目方も増えるということで、購入される方に、一番いいタイミングで出荷してくださっています。今年はナスの定植が遅れた関係で、これからが最盛期だそうです。とても楽しみです。



ところせましと並ぶ夏野菜

お知らせ

自然農法頒布会 9月19日(金) 鎌ヶ谷会場 11:00 ~ 15:00

自然農法勉強会 9月29日(月) 昼の部 10:30 ~ 夜の部 19:00 ~ (別院講堂)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

9月3日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- きじま平自然農産：キュウリ、納豆、青豆、豆菓子、きのこめし
- 市川生産グループ：煎茶(100g 1,800円)、みかんジュース
- 飯塚農園：タマネギ
- 長柄山自然農園：卵
- 富田善嗣さん：白米(2.8kg 4,000円他)
- 中島農園：トマト、キュウリ、ピーマン、トウモロコシ、カボチャ、ジャガイモ、プラム
- ジョリフィーユ：プリン、マドレーヌ、ルバーブタルト、イチゴロールケーキ、みかんジュースゼリー



お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX：03-3369-3324 e-mail：naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp